



平成25年12月4日
第37回研究評価委員会
資料 6

平成25年度 追跡調査・評価の実施状況 について(途中経過)

NEDO評価部

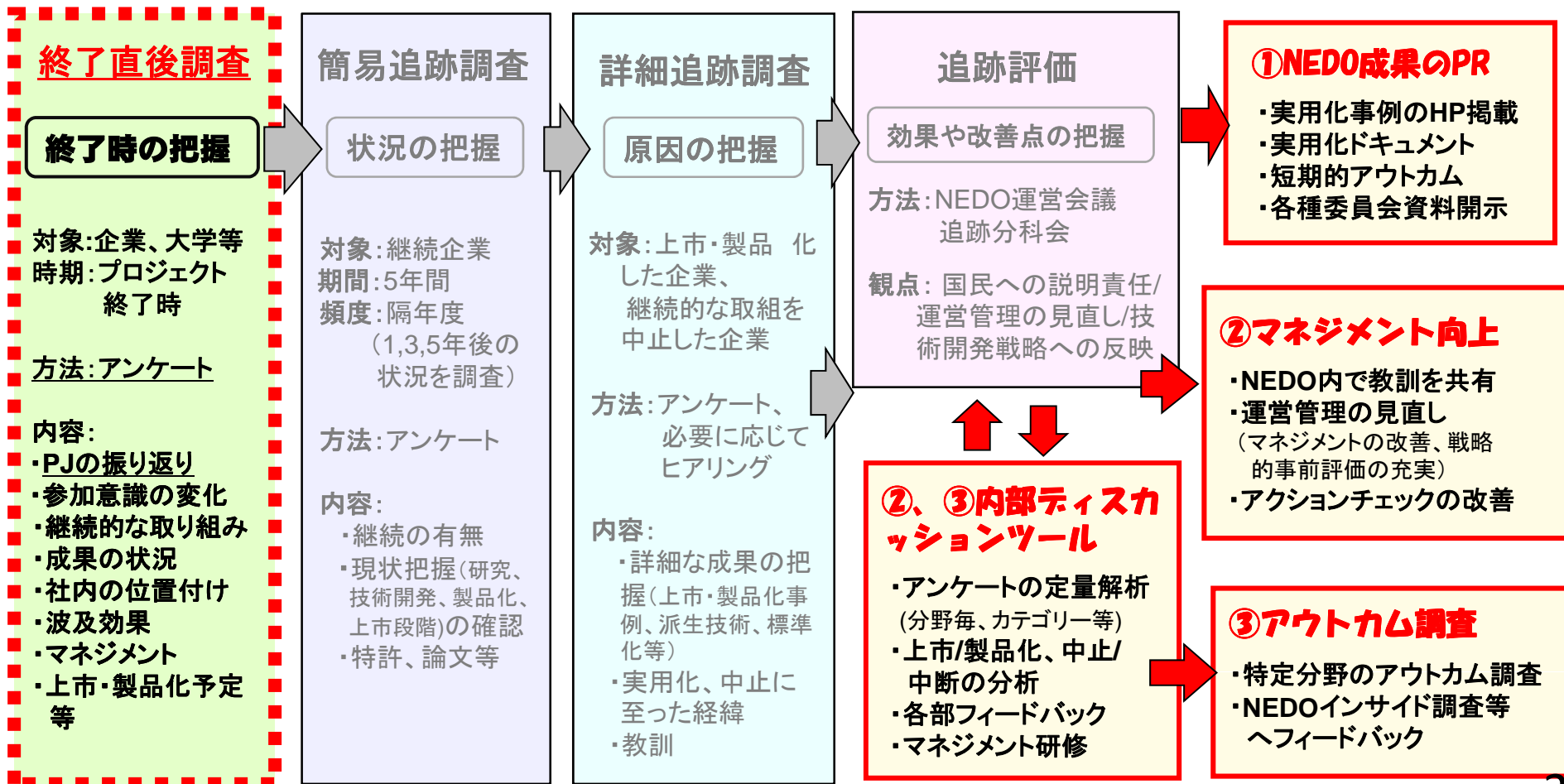
追跡調査とは？

NEDOプロジェクト終了後の成果の広がりを把握するため、中心的な役割を果たした参加機関(企業を中心)を対象として、**プロジェクト終了後6年間**の追跡調査を実施。

① マネジメントの改善

② 技術開発戦略への反映

③ 国民に対する説明責任



追跡調査の方法

アンケート

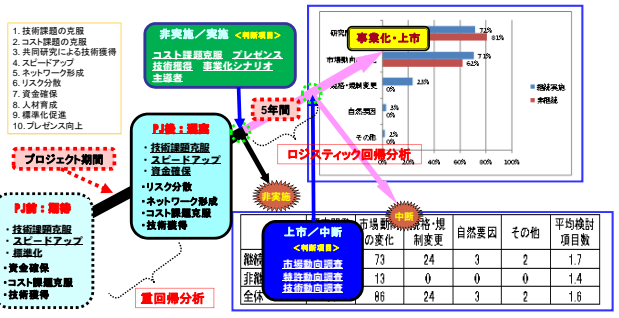
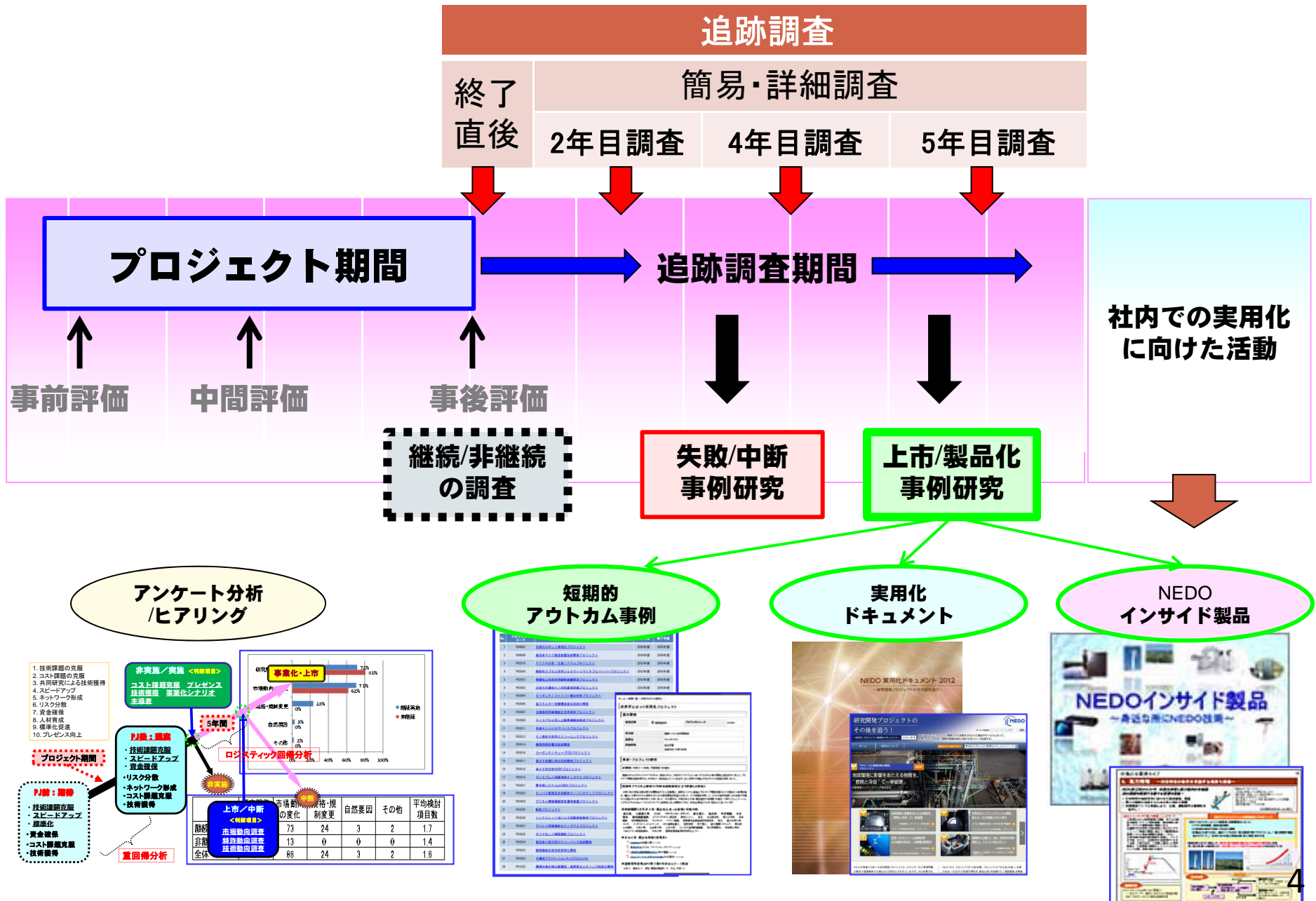


ヒアリング



マネジメントにフィードバック

追跡調査と成果物の関係



短期的アウトカム事例

No.	事例名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30



平成25年度追跡アンケートの回収状況

●事前準備調査の対象・回収状況

対象	状況					計
		企業	大学	独法	その他	
H24年度終了 17PJ	送付数	198	144	29	24	395
	回収数	193	125	26	23	367
	回収率	97%	87%	90%	96%	93%

簡易追跡調査の対象・回収状況(9/18時点)

対象	状況					計
		企業	大学	独法	その他	
H19年度 終了 15PJ	送付数	54	8	3	2	67
	回収数	54	8	3	2	67
	回収率	100%	100%	100%	100%	100%
H21年度 終了 23PJ	送付数	89	17	9	-	115
	回収数	88	14	9	-	111
	回収率	99%	82%	100%	-	
H23年度 終了 18PJ	送付数	141	101	34	19	295
	回収数	139	95	31	19	284
	回収率	99%	94%	91%	100%	97%
合計 56PJ	送付数	284	126	46	21	477
	回収数	281	117	43	21	462
	回収率	99%	93%	93%	100%	97%

事前準備調査で非継続が判明した企業、及び簡易追跡調査で新たに上市・製品化、実施後中止が判明した企業を対象に、詳細追跡調査を実施。

事前準備調査票 回収数(企業)		
内訳	非継続	36
	継続	157

簡易追跡調査票 回収数(企業)		
内訳	上市・製品化	55
	中止	32
	継続中	194

詳細追跡調査の回収状況

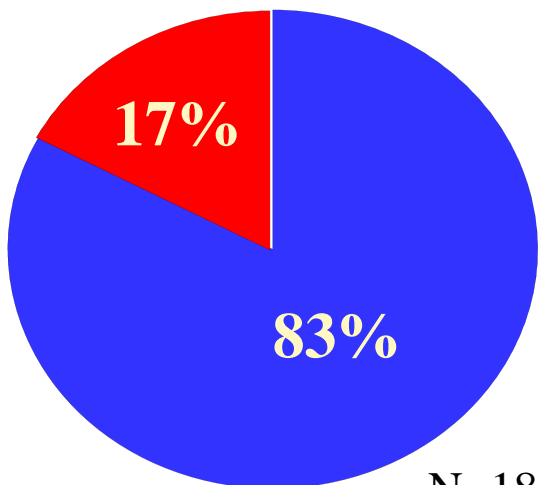
調査票種別	状況	企業
詳細上市・ 製品化	送付数	55
	回収数	55
	回収率	100%
詳細中止	送付数	32
	回収数	31
	回収率	97%
詳細非継続	送付数	36
	回収数	35
	回収率	97%
計	送付数	123
	回収数	121
	回収率	98%

平成25年度 終了直後調査プロジェクトの継続率

分野名		プロジェクト名	N数	継続実施	非継続	継続率
エネルギー	新エネルギー	固体酸化物形燃料電池システム要素技術開発	4	4	0	100%
		水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発	30	28	2	93%
		水素先端科学基礎研究事業	3	3	0	100%
		新エネルギー分野	37	35	2	95%
	省エネルギー	エネルギーITS推進事業	11	6	5	55%
		グリーンネットワーク・システム技術研究開発プロジェクト(グリーンITプロジェクト)	12	11	1	92%
		革新的ガラス溶融プロセス技術開発	2	2	0	100%
		超電導技術開発/イットリウム系超電導電力機器技術開発	8	7	1	88%
		省エネルギー分野	33	26	7	79%
	環境	環境調和型製鉄プロセス技術開発	9	7	2	78%
		環境分野	9	7	2	78%
小計			79	68	11	86%
産業技術	バイオテクノロジー・医療技術	ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発/有用天然化合物の安定的な生産技術開発	5	4	1	80%
		ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発/創薬加速に向けたタンパク質構造解析基盤技術開発	13	9	4	69%
		バイオテクノロジー・医療技術分野	18	13	5	72%
	機械・航空分野	異分野融合型次世代デバイス製造技術開発プロジェクト	15	14	1	93%
		環境適応型小型航空機用エンジン研究開発	3	2	1	67%
		技術開発推進分野	18	16	2	89%
	電子・材料・ナノテクノロジー	サステナブルハイパーコンポジット技術の開発	8	8	0	100%
		極低電力回路・システム技術開発(グリーンITプロジェクト)	14	13	1	93%
		高速不揮発メモリ機能技術開発	2	2	0	100%
		次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等基盤技術開発/ナノエレクトロニクス半導体新材料・新構造技術開発	6	5	1	83%
		次世代大型有機ELディスプレイ基盤技術の開発(グリーンITプロジェクト)	8	7	1	88%
		超高密度ナノビット磁気記録技術の開発(グリーンITプロジェクト)	5	5	0	100%
		低炭素社会を実現する次世代パワーエレクトロニクスプロジェクト/次世代パワーエレクトロニクス技術開発(グリーンITプロジェクト)	5	5	0	100%
		立体構造新機能集積回路(ドリームチップ)技術開発	21	11	10	52%
	電子・材料・ナノテクノロジー分野			69	56	13
小計			105	85	20	81%
合計			184	153	31	83%

★プロジェクト終了後、社内で継続的な研究開発・実用化活動等につ

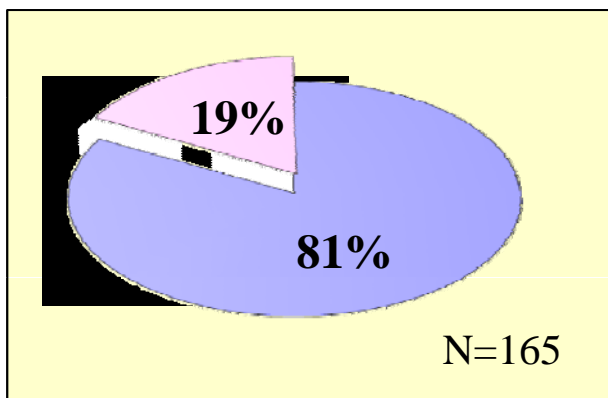
全体：継続率



N=184

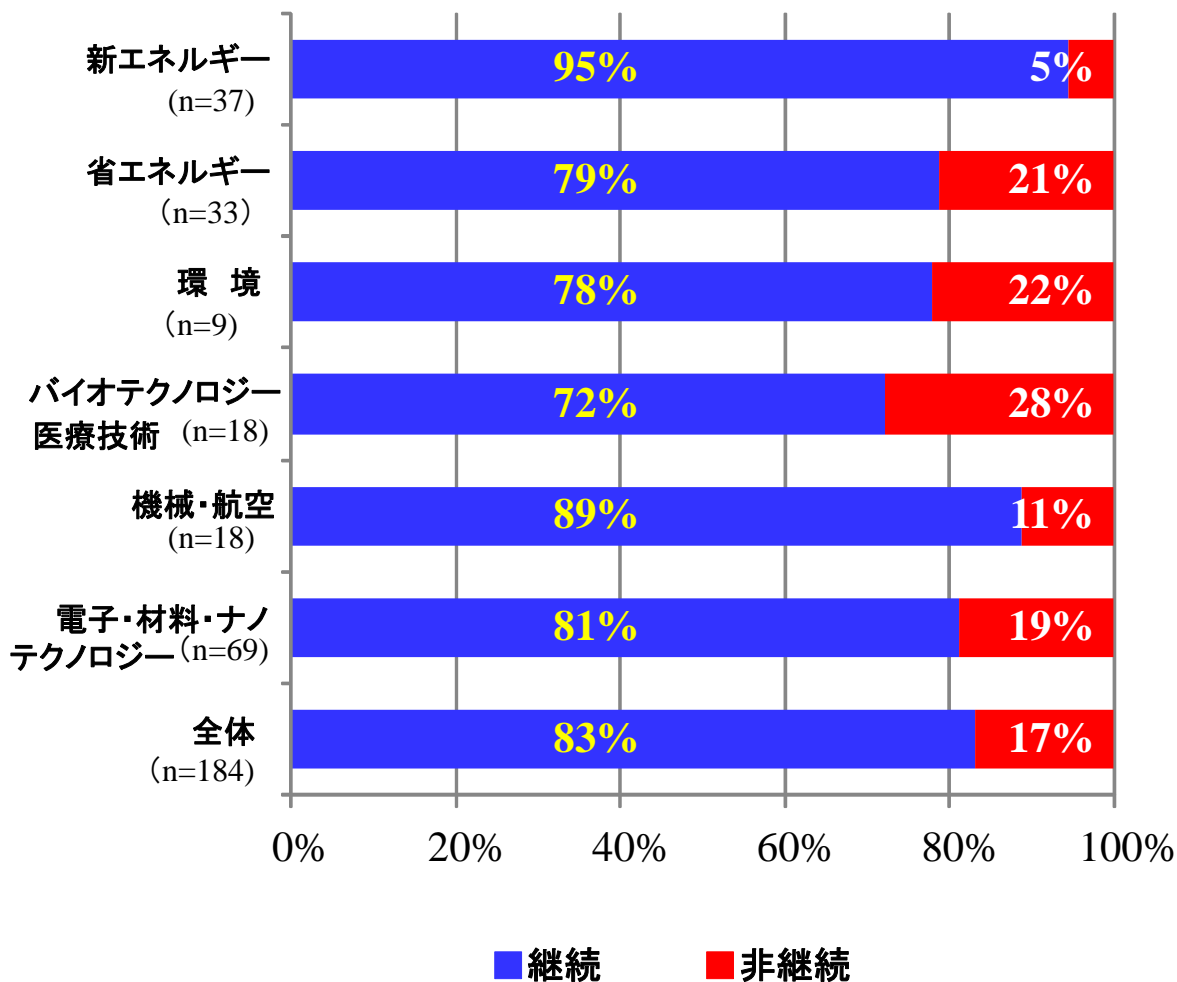
中止：中断：不明=42：55：3

<参考>平成24年度：継続率

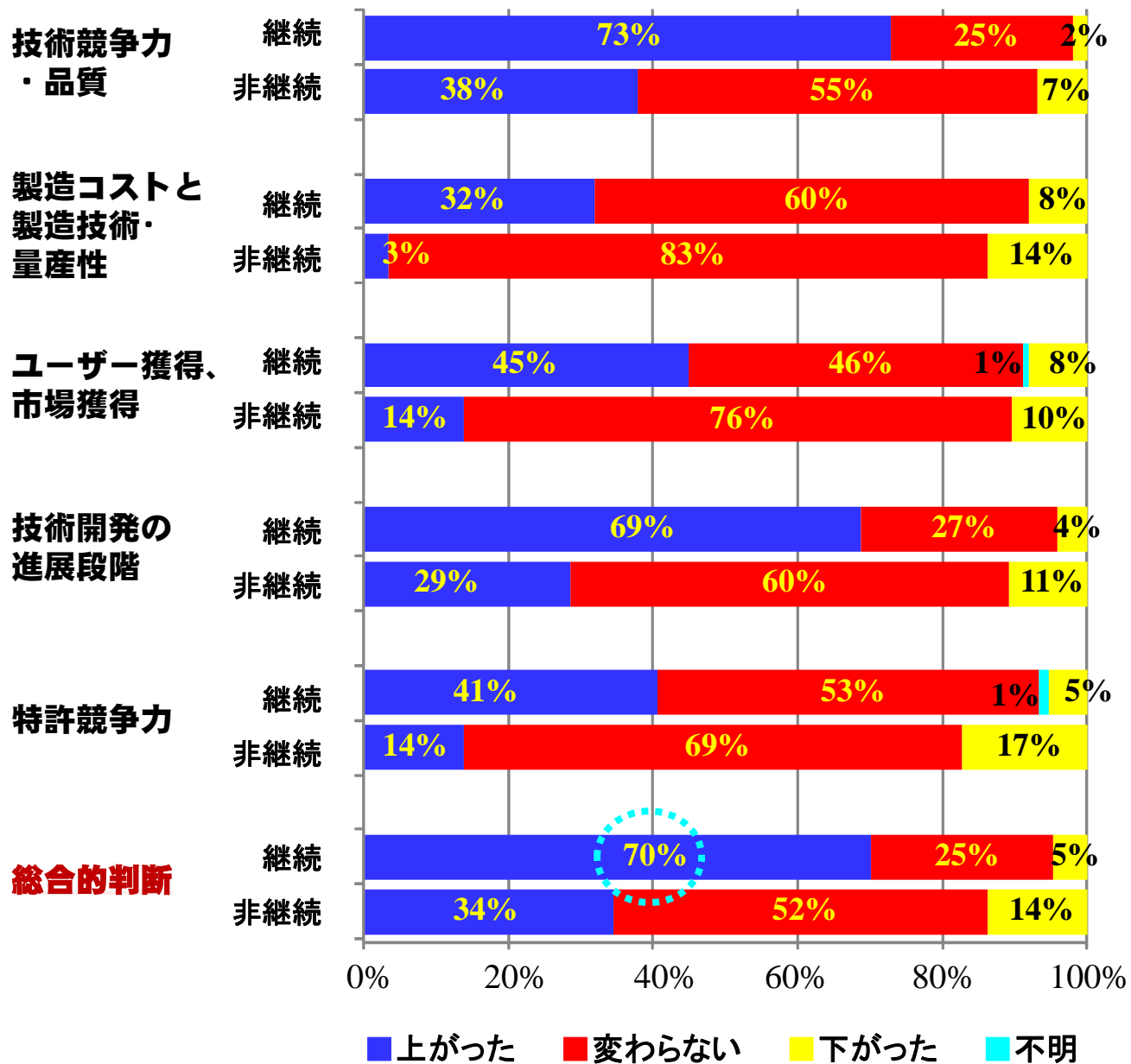


N=165

分野別：継続率



★競争力ポジションに関する調査の実施、実施時期について？



競争力ポジショニングの調査は実施したか？

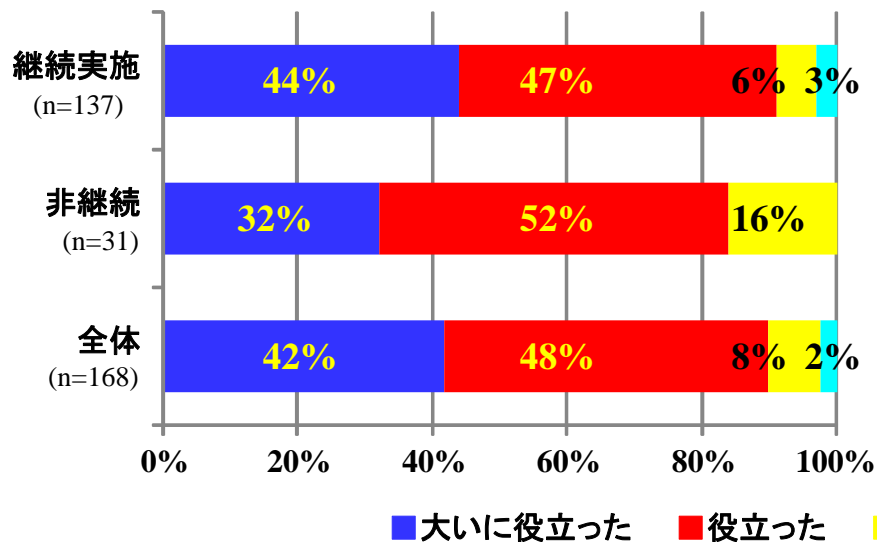
	継続実施	非継続
提案前	31%	25%
採択直後	8%	0%
中盤	23%	0%
後半	14%	4%
終了後	14%	4%
実施なし	55%	68%

継続:N=149~151

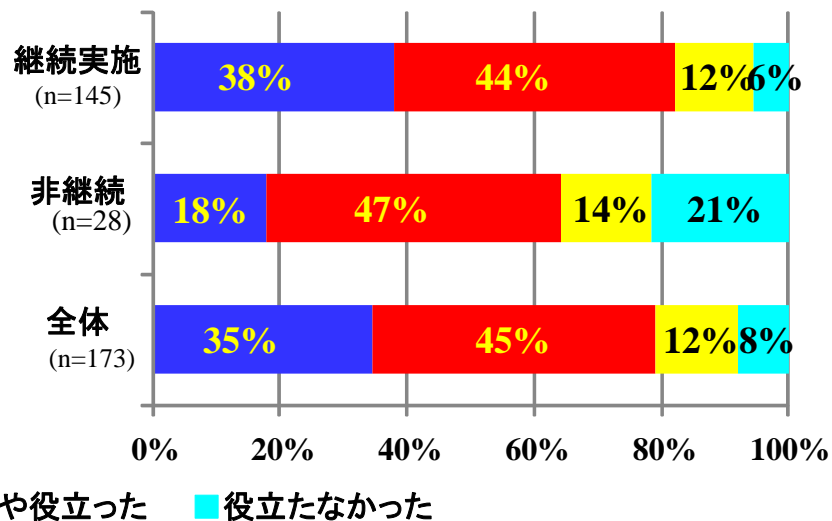
非継続:N=28~29

★大学や企業との連携は役立ちましたか、どのような観点か？

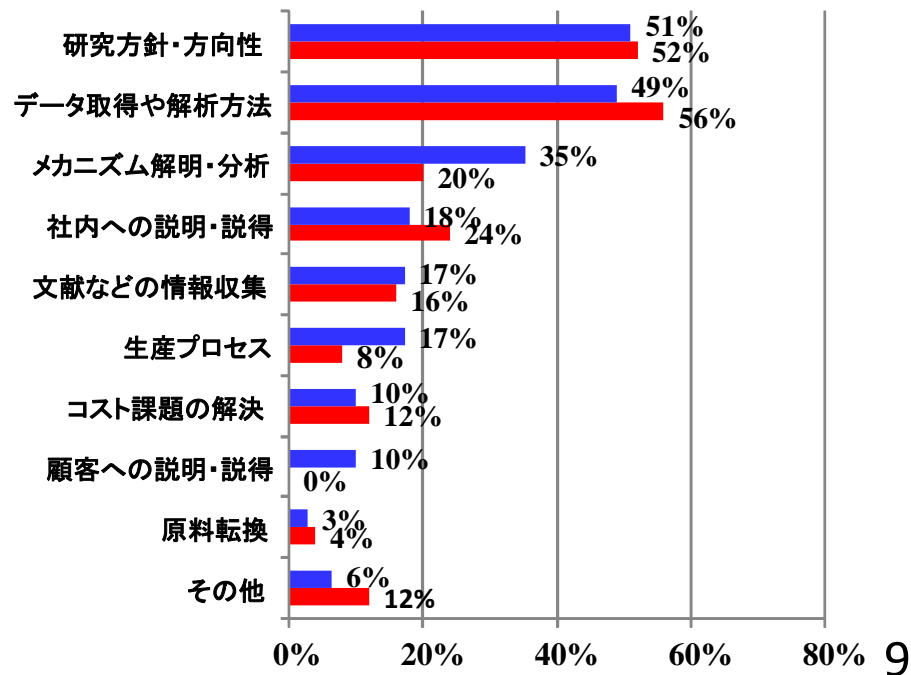
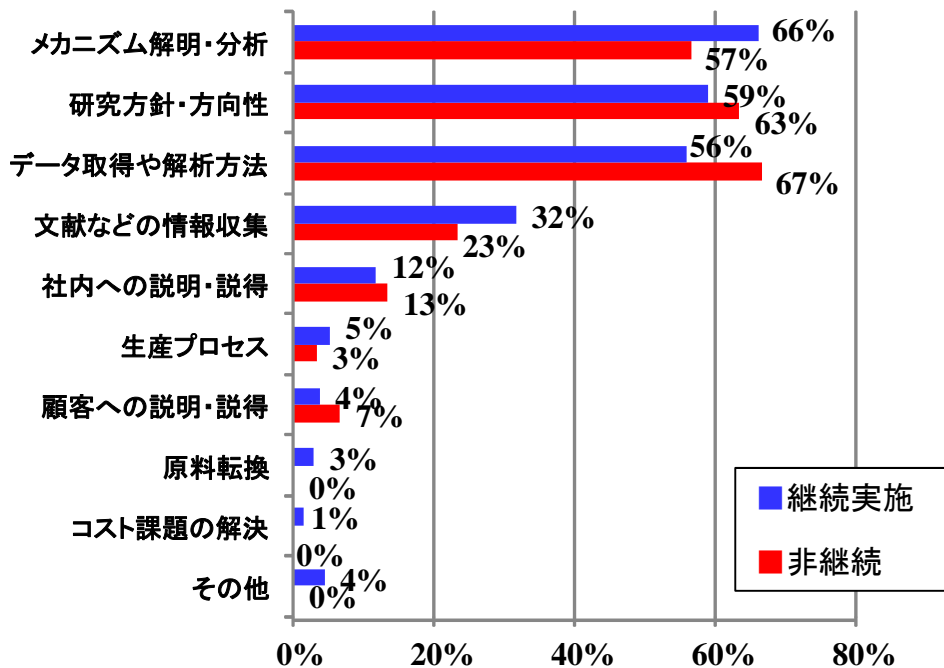
大学との連携



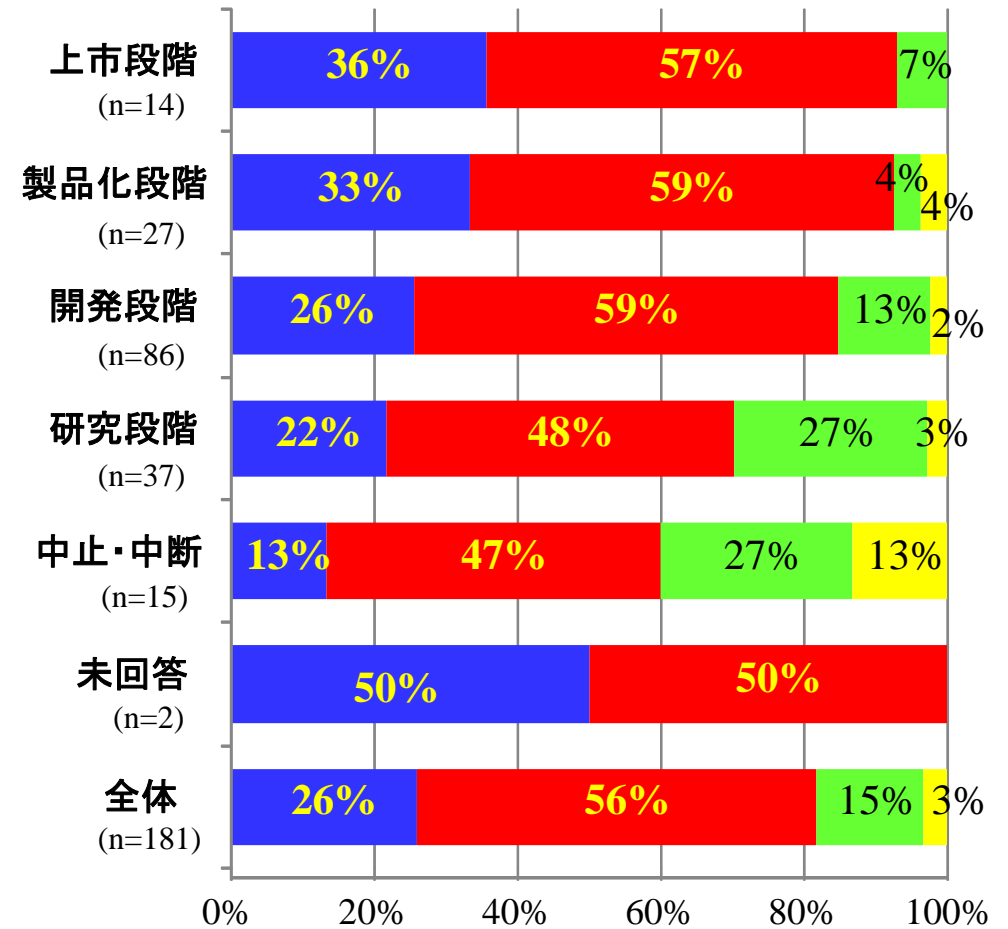
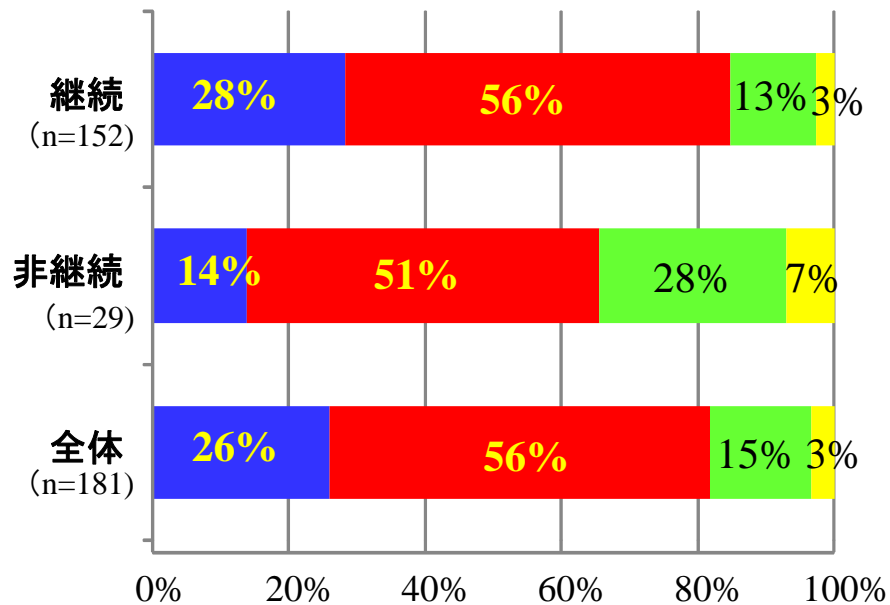
企業との連携



■ 大いに役立った ■ 役立った ■ やや役立った ■ 役立たなかった

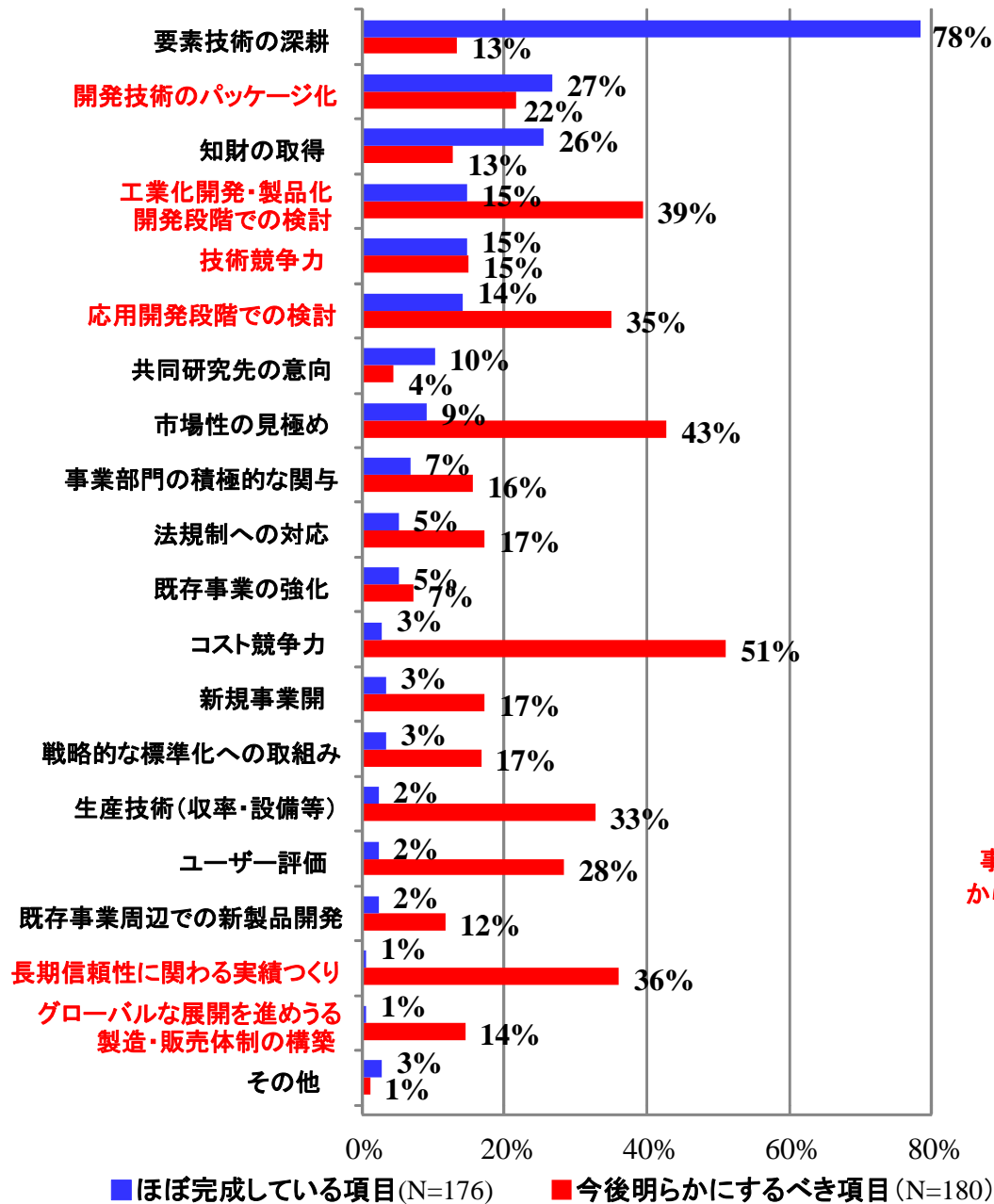


★プロジェクト実施期間中に取得できた実験データの量は、次のうちどれですか

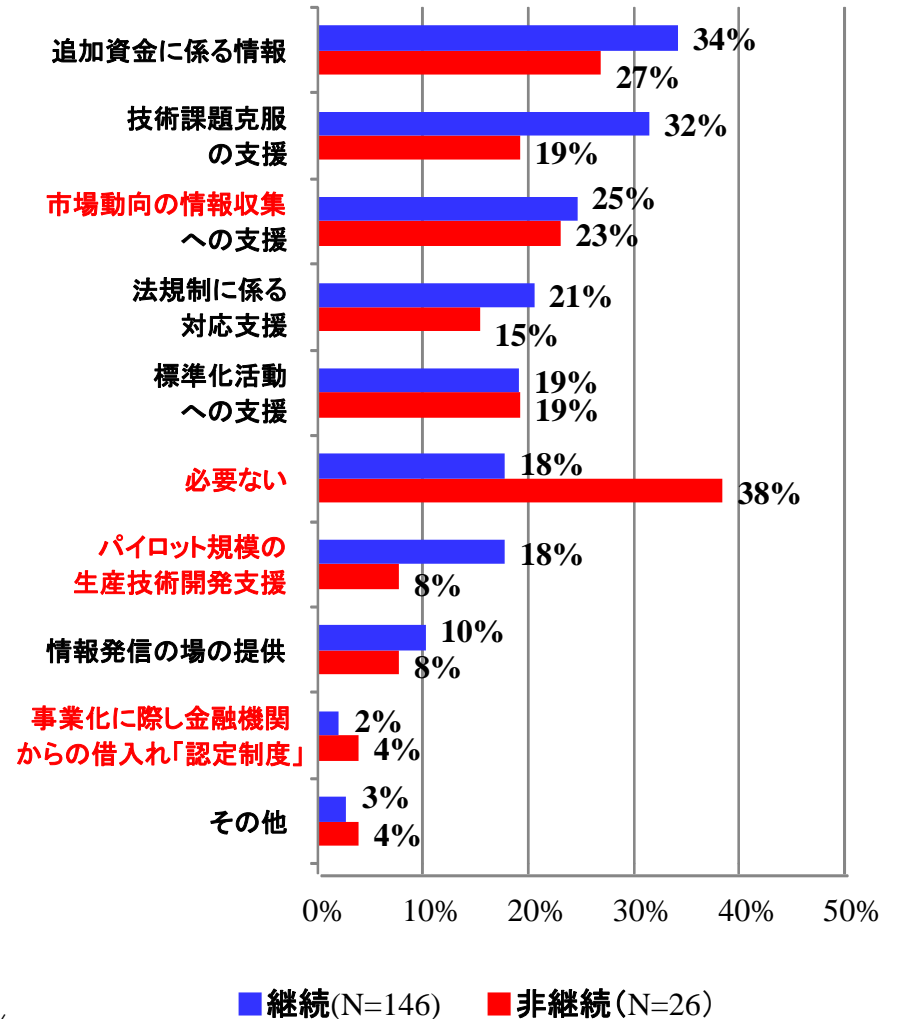


- 非常に多くのデータを取得できた
- 多くのデータを取得できた
- 通常の企業活動と同程度のデータを取得できた
- 少なめのデータしか取得できなかった

★プロジェクト終了時点までにほぼ完成している項目と、
今後、明らかにすべき項目は、次のうちどれで

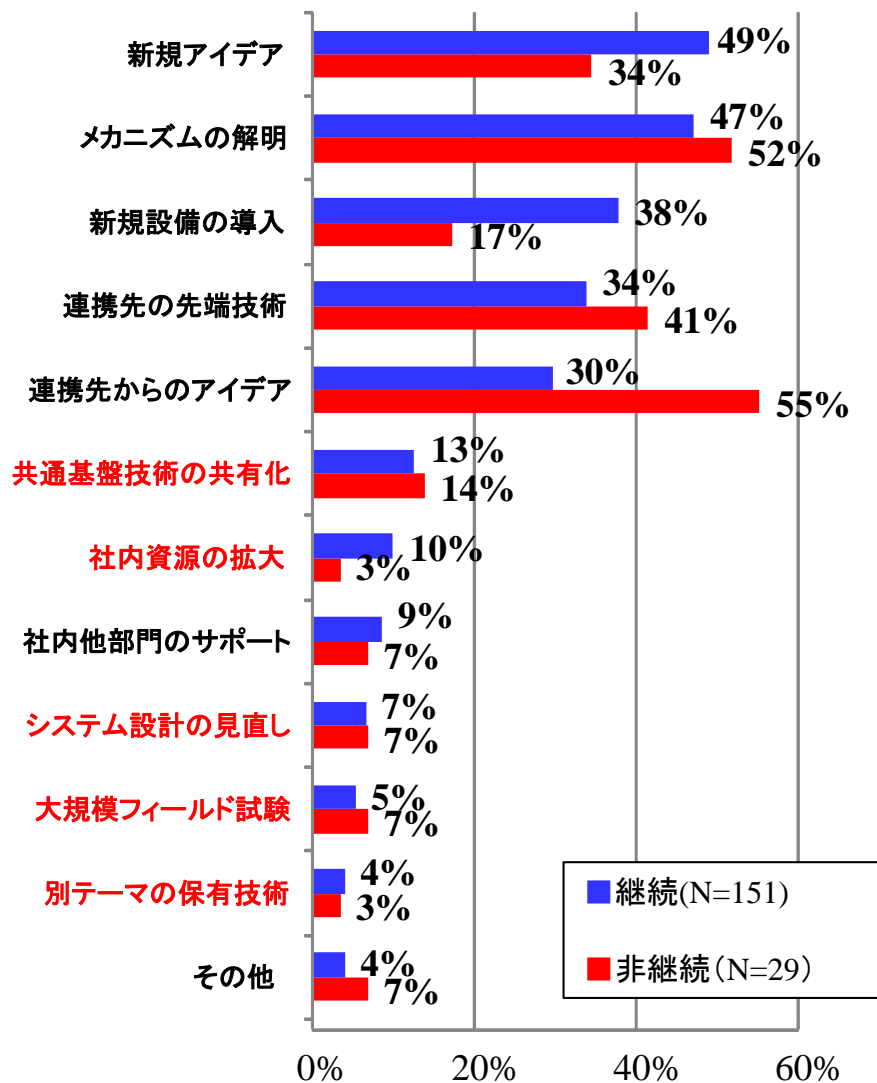


現段階で必要とされるNEDOの
サポートは？【複数回答】

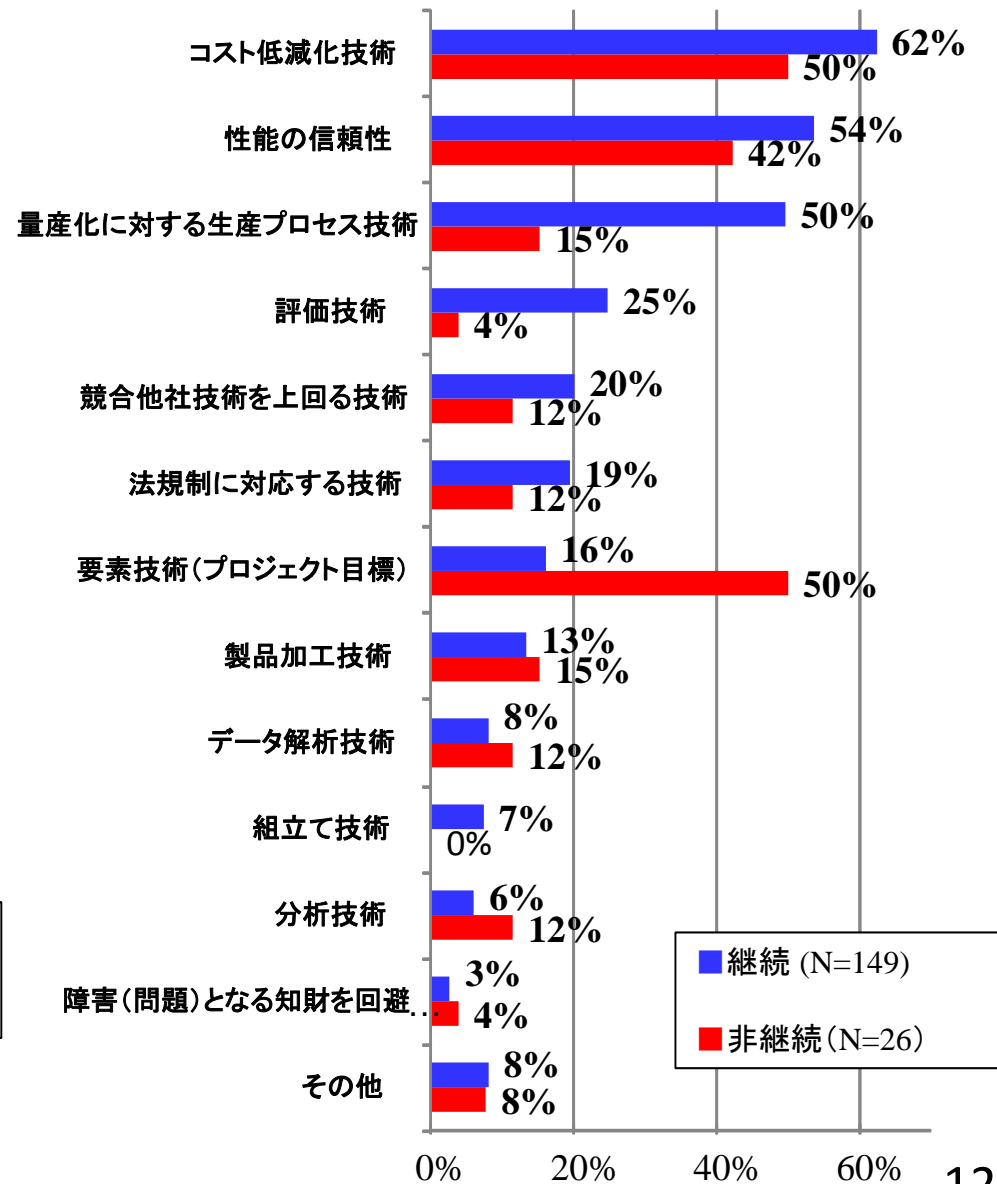


★技術課題の克服: できた要因、今後の課題について?

技術的課題の克服に寄与した要因【複数回答】

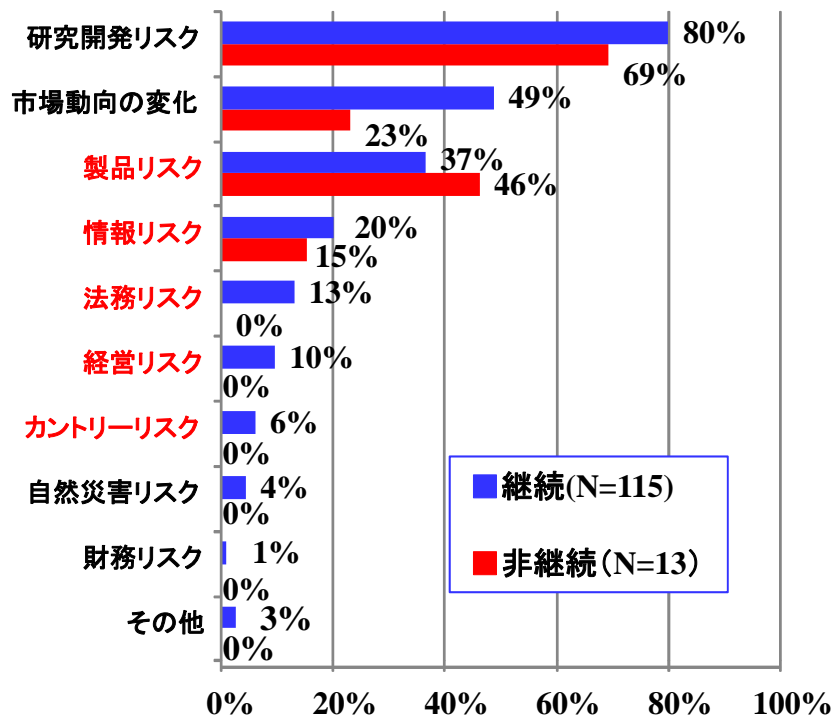


今後、克服すべき技術的課題の内容【複数回答】



★リスク検討に関する問いかけ？

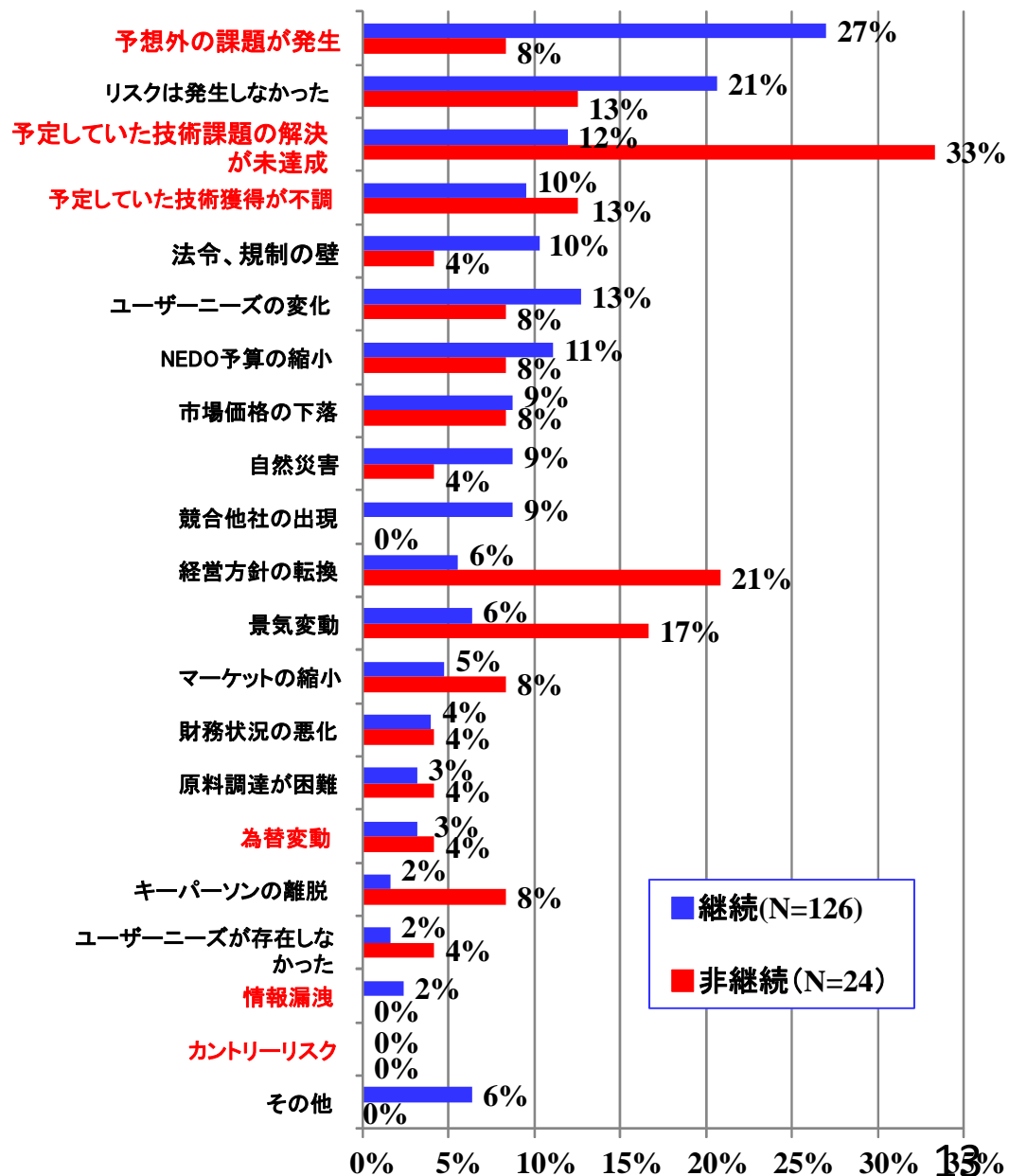
リスク検討の内容【複数回答】



【用語説明】

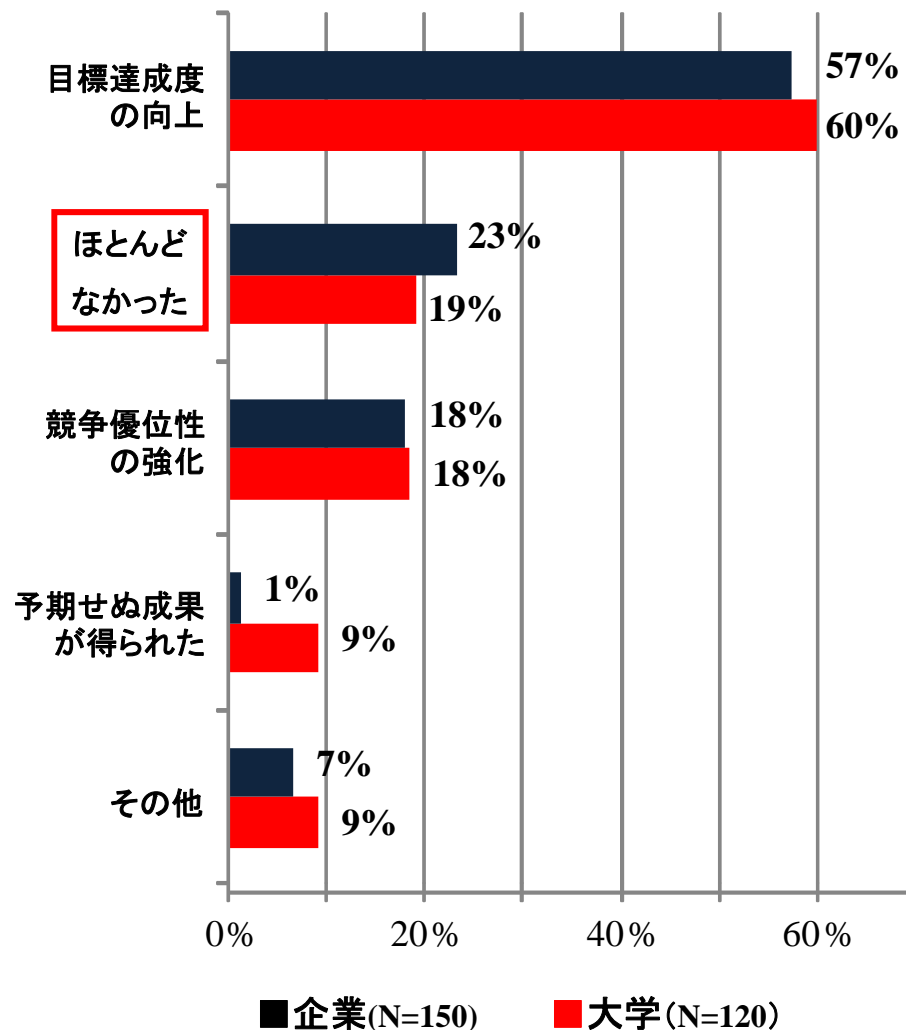
製品リスク: 原料等の調達先確保、市場優位性など
情報リスク: 情報漏洩など
法務リスク: 規格・規制変更、関連法令等の改廃など
経営リスク: 買収・事業承継など
カントリーリスク: 輸出入先など対象国の政治・法律
 などの変化
財務リスク: 為替レートの変化など

実際に発生したリスクは何ですか【複数回答】

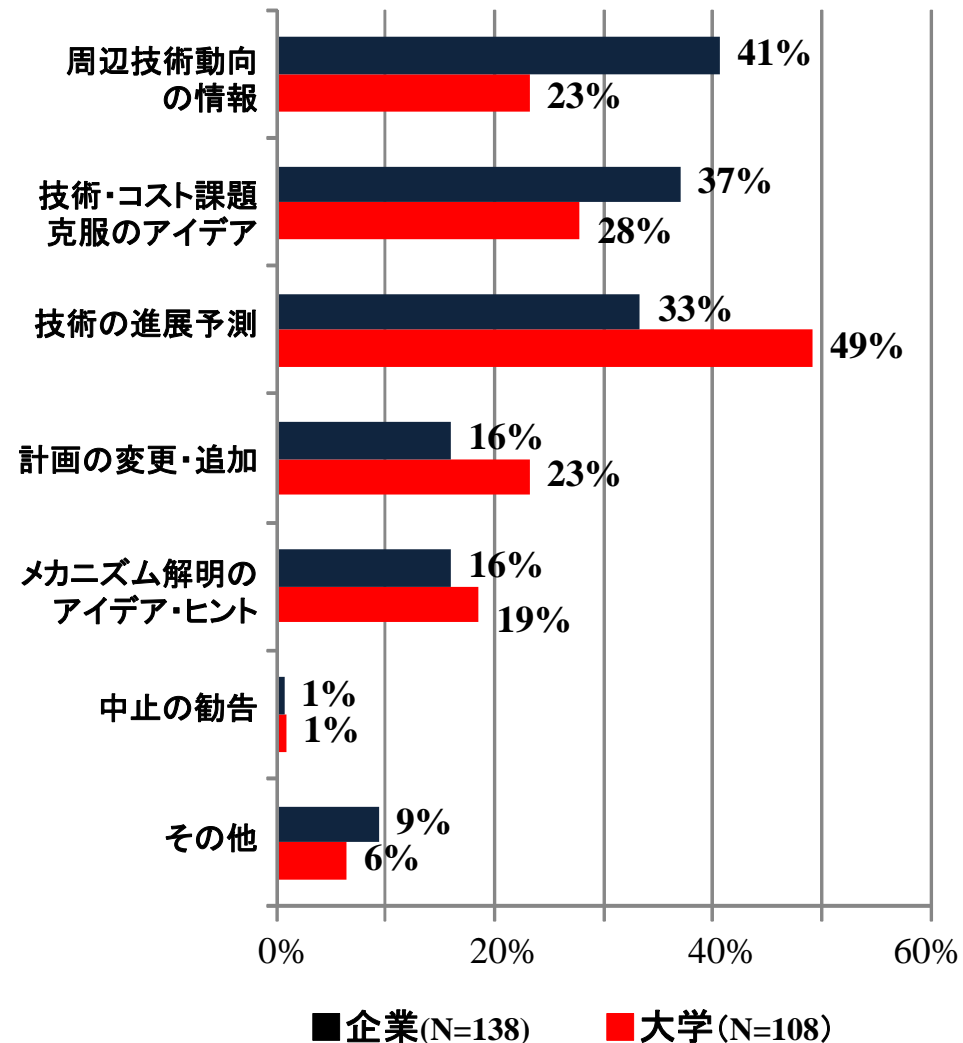


★中間評価の影響、欲しかったアドバイスについて？

【中間評価での指摘事項がその後のプロジェクトに及ぼす影響】



【中間評価で欲しかった指摘や提言】



「NEDOインサイド70製品」の売上実績・予測

(単位:億円)	NEDO投入費用		売り上げ実績		将来の 売り上げ見通し (2011~20年の累積)
	単年度 平均研究開発費	累積 研究開発費	直近単年度 (2010年)	最近5年間 の累積	
太陽光発電	58	1,735	15,800	46,400	219,400
風力発電	4	85	2,600	7,300	41,100
ガスタービン	35	532	2,600	11,900	40,100
家庭用HP給湯器	12	154	3,400	16,000	38,500
家庭用燃料電池	49	880	120	300	11,600
ブルーレイ関連製品	12	61	5,100	14,500	51,500
半導体関連部品	35	280	500	1,700	65,000
MEMS	18	250	400	1,200	6,700
高性能セラミックス	5	123	100	110	10,500
高性能工業炉	11	80	20	400	1,100
廃棄物発電	10	100	200	1,500	2,500
水処理(膜分離等)	19	118	400	1,300	6,000
バイオ顕微鏡	20	98	100	90	1,200
その他	—	1,913	9,460	40,100	196,000
合計	—	6,409	40,800	142,800	691,200

市場創出の先駆者

国際競争力のプースター

幅広い分野の底上げ

環境・エネルギー課題解決

安全・安心・快適な生活実現

「その他」: ロボット、大型ディスプレイ、廃棄物発電、真空断熱材、フロン破壊、HDDドライブ、半導体製造技術、CNG自動車、エコセメント、MEMS、体脂肪計、半導体接着技術、ナノイオン応用製品、X線CT診断装置、省エネ型建機、電子材料用絶縁材料、産業用ヒートポンプ、省エネ複写機、氷蓄熱システム、サルファーフリー軽油、糖鎖微量迅速解析システム、高機能・信頼性サーバー、超伝導材料、ストーカー炉、光触媒等

参考) 萬木等: 研究・技術計画学会(2013年11月 政策大学院大学), M.YAMASHITA, etc., Research Evaluation, 2013.Oct, in press.

イノベーションを起こしたと考えられる製品事例

【太陽光発電】



- ・ 30年で様々な種類の太陽電池を開発
- ・ 一般家庭と電力系統の連系を実証

【家庭用燃料電池】



- ・ 規制緩和に資する評価手法開発
- ・ 世界初“エネファーム”として発売

【家庭用ヒートポンプ給湯器】



- ・ CO₂ヒートポンプの基本概念を発見
- ・ 寒冷地、再加熱等、装置スペックに大きく貢献

【廃棄物発電】



- ・ 廃棄物の急増、廃棄物処分場の不足
- ・ 基盤技術(耐腐食性材料、ヒーターの高温化)から、実用化、実証

【エコセメント】



- ・ 廃棄物削減、リサイクルの観点
- ・ 環境JIS(JISR5214) 第1号

【移動用電源】



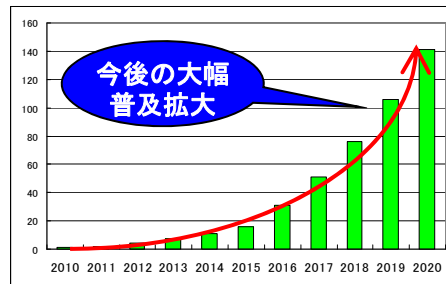
- ・ 電池劣化機構や安全性のメカニズム
- ・ ハイブリッド自動車用電池の基本特許

家庭用燃料電池

～日本ならではの先端技術で大幅省エネ・マイホーム発電を実現～

技術開発の黎明期から20年、国内の市場創出の障壁を解消する様々な事業を実施！

- 息の長い基礎研究から、タイムリーな大規模実証試験まで継続的に取り組む。
- 規制緩和・国際標準を推進し、世界で初めて家庭用燃料電池を創出！



★NEDOインサイド「燃料電池」ここがすごい！

- ・開発当初はkW当たりのコストは1億円程度。電極や電解液の改良により発電効率の向上、周辺機器の低価格化により、**200万円まで低価格化**。
- ・**実証試験（延べ3,307台）**により、故障原因及び信頼性を網羅的に把握して対策。市場導入に向けた開発

国内で4万台が稼働中！



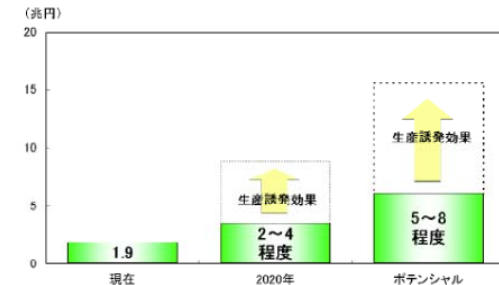
イノベーション

CO₂ヒートポンプ給湯器

～常識を覆す、空気熱を使った湯沸かし器～

国内のヒートポンプの普及に向け、小型化、低コスト化、信頼性向上に大きく寄与！

- フロン全廃が決まりCO₂を利用したヒートポンプサイクルを考案したことがスタート。
- 家庭用給湯器として、冷地対応、コンパクト、省スペース、高効率を目指した多岐に亘る実用化を加速！



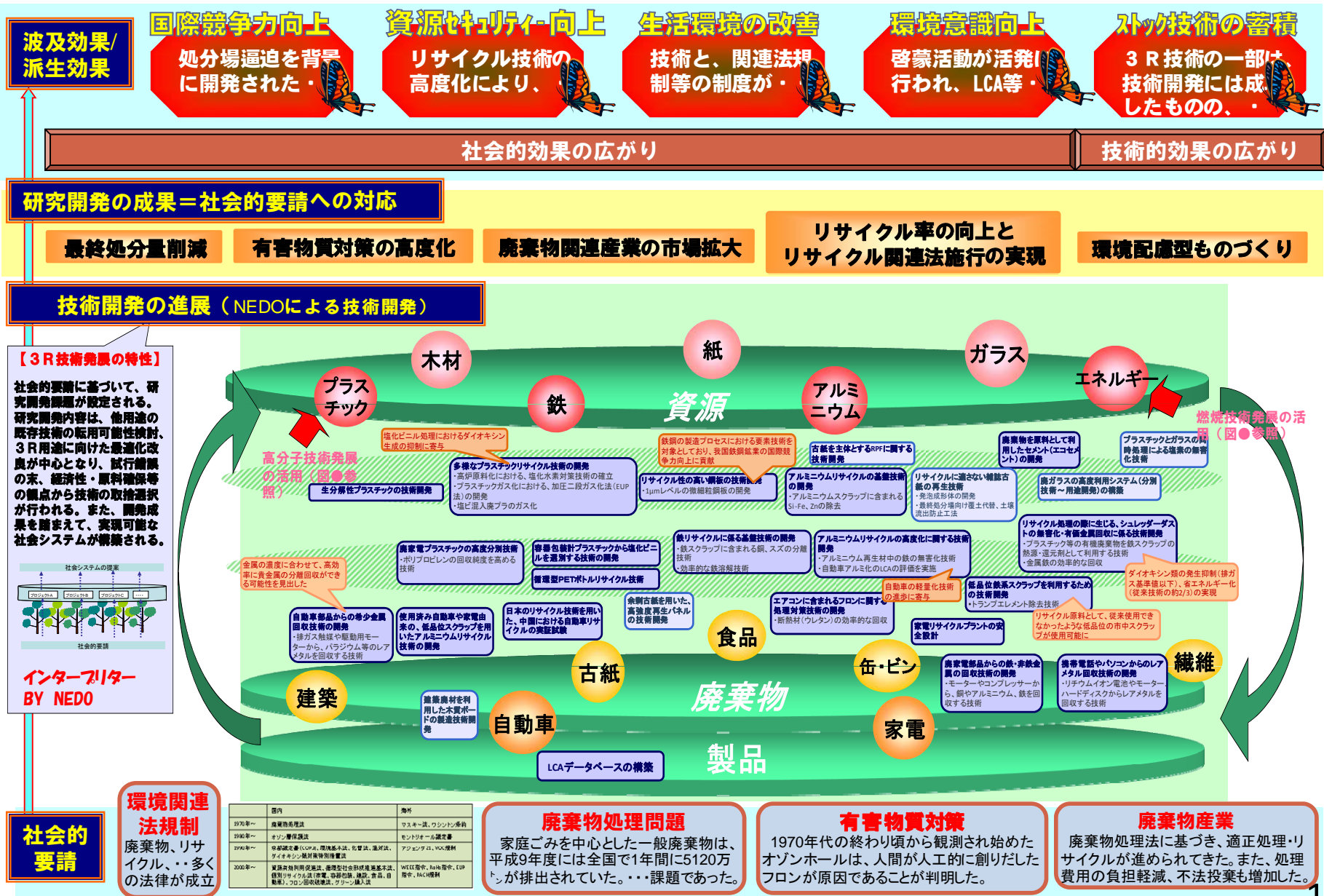
★NEDOインサイド「ヒートポンプ給湯器」ここがすごい！

- ・夏場の電力のピークカットのため、夜間電力を利用したヒートポンプや蓄熱技術を開発。世界トップレベルの技術を確立
- ・自動車のエジェクターを転用して、実用化を実現
- ・**2020年までに1000万台の導入を目指す！ オール電化が後押しに！**

国内で400万台が稼働中！



リサイクル技術に関する社会システムへの貢献



★PJの「NEDOインサイド」をHP上に掲載！

1

NEDO 独立行政法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

ホーム 最近の動き ニュース 公募・調達

NEDOは、産学官の英知を結集し、国際的なネットワークを活かしながら
エネルギー・地球環境問題の解決と産業技術の競争力強化を目指します。

NEDOについて
事業一覧
NEDOライブラリ
お客様デスクのご利用窓口
(公募・制度・資料)
NEDOの活動を
知りたい方
NEDOの事業・支援制度を
ご利用の方
成果・実用化紹介
パンフレット
メール配信サービス
委員会情報(開催通知等)
委託・助成事業者の方へ
ピックアップ

2

NEDO 独立行政法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

お問い合わせ窓口 ウェブサイトの使い方 サイトマップ English

文字サイズ変更 小 中 大 サイト内検索 Googleカスタム検索 検索

ホーム 最近の動き ニュース 公募・調達 イベント 特集記事

NEDOについて
事業一覧
NEDOライブラリ
【お客様デスクのご利用窓口
(公募・制度・資料)】
メール配信サービス

ホーム > 成果・実用化紹介

成果・実用化紹介

1. 具体的実用化、製品化事例

◎ 研究開発プロジェクトのその後を追う！—NEDOプロジェクト実用化ドキュメント—
NEDOプロジェクトにより開発された技術がどのように製品やサービスとなって、活用されているかを、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野から、その開発ストーリーをドキュメントしていきます。

【注目のキーワード】
ブルレーイ エネファーム ハードディスク(HDD)

◎ 身近な所にNEDO技術(NEDOインサイド製品)
NEDOプロジェクトの開発成果がコア技術として活用された製品等を「NEDOインサイド製品」と定義付け、これまでNEDOが携わってきたプロジェクト成果が、どのように社会に活用されてきているかを調査いたしました。是非、皆様の周りにおけるNEDO製品を見つけてみてください。

3

ホーム > 身近な所にNEDO技...

身近な所にNEDO技術(NEDOインサイド製品) 平成24年7月5日

NEDOプロジェクトの開発成果がコア技術[※]として活用された製品等を「NEDOインサイド製品」と定義付け、これまでNEDOが携わってきたプロジェクト成果が、どのように社会に活用されてきているかを調査いたしました。

具体的には、プロジェクト成果が、上市、製品化されたもの、また製品化のプロセス(処理、加工)等に活用され、売につながったもの等を対象としています。

是非、皆様の周りにおけるNEDO製品を見つけてみてください。

※ ここでの『コア技術』とは、研究開発段階であった技術のうち、NEDOプロジェクトが契機となり実用化に至ったものを指します。

「NEDOインサイド製品—身近な所にNEDO技術—」PDFダウンロード

NEDOインサイド製品—身近な所にNEDO技術— (全31ページ)

目次
目次のリンクをクリックすると、上記PDFの各ページが表示されます。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

★追跡調査終了直後の姿「短期的アウトカム」を掲げ

<http://www.nedo.go.jp/activities/introduction.html>

NEDO 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

お問い合わせ窓口 ウェブサイトの使い方 サイトマップ English

ホーム 最新の動き ニュース 公募・調達 イベント 特集記事

- NEDOについて
- 事業一覧
- NEEDライブラリ
- 【お客様デスクのご利用窓口 (公募・制度・資料)】
- 事業一覧
 - エネルギー・環境技術
 - エネルギー
 - 環境
 - 産業技術
 - 電子・情報
 - バイオテクノロジー・医療技術
 - 機械システム
 - ナノテクノロジー・材料
 - 国際実証・連携
 - 京都メカニズム
 - 分野横断的公募事業
 - 産学連携・人材育成
 - 調査等その他事業
 - 調査
 - 招へい事業
 - 石炭経過業務
 - NEDOPOST
 - メール配信サービス

①事業一覧

NEDOで当年度に実施している事業・プロジェクトについて、技術分野や分野横断的に、分野・事業の概要、プロジェクト一覧、プロジェクト毎の基本情報・実施概要やそれらの詳細情報を通じ、プロジェクトの立ち上がりから終了まで一貫して閲覧できます。また、個々のプロジェクトにはプロジェクトコードを設定していますので必要に応じてご利用下さい。

◎ **事業(終了分を含む)の検索はこちら**
 ◎ **事業一覧表(終了分含む)はこちら**(PDF)

なお、過去に実施した個々のプロジェクトについて平成17年度終了プロジェクトより終了後5年間の短期的アウトカム状況※を掲載しています。
 ※ アウトカム状況とは、参画された企業におけるその後の実施状況をまとめたものです。
 ◎ **短期的アウトカム一覧表(平成17年度終了プロジェクト)**(PDF)

技術分野別

技術・事業分野	サブカテゴリ
■エネルギー・環境技術	太陽光・太陽熱 風力

③ **上市事例一覧表**

No.	プロジェクトコード	件名	開始年度	終了年度
29	P02004	高強度炭素繊維強化樹脂のセルロース製造技術開発	2002年度	2005年度
30	P02006	繊維強化を用いた軽質複合材料の複合材料の製造技術開発	2002年度	2005年度
31	P02001	内臓熱交換による省エネルギー技術開発	2002年度	2005年度
32	P02003	マイクロ自動制御高度プラズマ技術を用いた省エネルギー型製造装置の技術開発	2002年度	2005年度
33	P02012	ナノテクノロジー・材料	2002年度	2005年度
34	P02013	バイオ・社会連携型プロジェクト	2002年度	2005年度
35	P02014	ものづくり技術開発プロジェクト(フューチャースタート)	2002年度	2005年度
36	P00043	高強度・高品質樹脂(ハザード)製造システム	2001年度	2005年度
37	P01004	高強度・高品質樹脂(ハザード)製造システム	2001年度	2005年度
38	P01007	人工衛星システム	2001年度	2005年度
39	P01008	LPガス固体系分子篩型燃料電池システム開発	2001年度	2005年度
40	P01018	ナノガラス技術プロジェクト	2001年度	2005年度
41	P01019	ナノ粒子の合成と機能化技術プロジェクト	2001年度	2005年度
42	P01022	ナノ機能合成技術プロジェクト	2001年度	2005年度
43	P01032	省エネルギー型太陽電池技術開発	2001年度	2005年度
44	P01034	太陽光発電技術開発	2001年度	2005年度
45	P01038	超導材料材料の製造・加工技術(実用)	2001年度	2005年度
46	P01042	バイオマスエネルギー型発電技術開発	2001年度	2005年度
47	P00012	石炭炭化システム開発	2000年度	2005年度
48	P00013	タンパク質機能解析・活用プロジェクト	2000年度	2005年度
49	P00015	炭化水素燃料材料の製造・加工技術(実用)	2000年度	2005年度
50	P00025	生物機能を活用した省エネルギー型製造技術開発	2000年度	2005年度
51	P00035	太陽光発電システム(実用)技術開発	2000年度	2005年度
52	P95001	炭化水素燃料材料の製造・加工技術(実用)	1995年度	2005年度

- 事業一覧
- NEEDライブラリ
- 【お客様デスクのご利用窓口 (公募・制度・資料)】
- 事業一覧
- エネルギー・環境技術
 - エネルギー
 - 環境
 - 産業技術
 - 電子・情報
 - バイオテクノロジー・医療技術
 - 機械システム
 - ナノテクノロジー・材料
 - 国際実証・連携
 - 京都メカニズム
 - 分野横断的公募事業
 - 産学連携・人材育成
 - 調査等その他事業
 - 調査
 - 招へい事業
 - 石炭経過業務
 - NEDOPOST
 - メール配信サービス
 - 技術戦略マップ
 - 主な支援制度のご紹介

太陽光発電システム普及加速型技術開発

基本情報

技術分野: 太陽光・太陽熱 プロジェクトコード: P00035

担当部: 新エネルギー技術開発部

連絡先: 044-520-5270

詳細資料:

- 基本計画(PDF)
- 実施方針:平成16年度版(PDF)
- 実施方針:平成15年度版(PDF)

④ **太陽光発電の例**

事業期間:平成12～17年度, 予算総額 92.7億円

2010年以降の太陽光発電システムの大量普及を実現するため、太陽光発電システムの産業自立化と市場自律化を目指した実用化技術開発、量産化技術開発、製造技術開発等を実施することにより、太陽光発電システムの加速的コストダウンを行い本格的普及を図ることを目的として、現行の生産性を革新的に向上させる量産化技術開発や変換効率を含めた太陽光発電システムの高性能化技術開発等を行いました。

⑤ **短期的アウトカム概要(5年間の追跡調査により把握した状況)**

カナカは、多数枚パッチ方式製造技術を開発し、ハイブリッド型太陽電池を上市しました。現在、カナカソーラーテックにて事業を継続しています。富士電機は、自由な形状での施工が可能なフィルム型アモルファス太陽電池を開発し、平成18年より熊本工場にて生産を開始しています。トップセルは、亜鉛還元法による太陽光発電用原材料シリコンの製造技術を開発しました。これにより、トップセル、新日鉱HD、東邦チタニウムによる合弁会社「新日本ソーラーシリコン」が設立され、茨城県鹿嶋コンビナート内に量産工場が建設されました。トクヤマでは、シーメンス法と比較して1/3～1/2のエネルギー原単位となる溶融析出法による太陽電池用シリコン製造技術を開発しました。その後、実証プラントを建設し、平成21年より実証試験を開始しています。

■参画機関(文字が上市・製品化に至った企業)※順不同
 カナカ、三菱重工、シャープ、富士電機アドバンステクノロジー、第一機電、トクヤマ、トップセル、新越、東京農工大学、崇城大学

■主な上市・製品化事例

⑤ **成果概要、派生効果実用化ドキュメント等**

NEEDライブラリ

ハイブリッド型太陽電池

太陽電池市場の有望技術「新ハイブリッド」型太陽電池

世界中で開発が進められている太陽電池、日本でも開発が加速し、多くのメーカーが商業に乗り出しています。シリコン材料の消費量を削減する新ハイブリッドは、太陽電池市場の注目の技術です。

加える太陽電池の普及

⑤ **成果概要、派生効果実用化ドキュメント等**

⑤ **2.平成19年度追跡調査結果**

①平成19年度詳細追跡調査において新たに把握した主な上市事例(1/6)

①-1 連続シリコンハイブリッド型の製膜装置開発により量産化に成功(カナカ)

NEEDの技術成果: 太陽電池市場の有望技術「新ハイブリッド」型太陽電池

NEEDの技術成果: 自由な形状での施工が可能なフィルム型アモルファス太陽電池

NEEDの技術成果: プラスチックフィルムを基材としたアモルファス太陽電池

①-2 軽量・フレキシブルな特性を利用した展開(富士電機システムズ)

NEEDの技術成果: 自由な形状での施工が可能なフィルム型アモルファス太陽電池

NEEDの技術成果: プラスチックフィルムを基材としたアモルファス太陽電池

⑤ **平成19年度調査対象企業における派生技術/技術転用の代表的な例**

⑤ **上市・製品化企業の派生技術/技術転用**

終了年度	分野	プロジェクト名	プロジェクト期間中の開発項目 → 派生技術または技術転用
17	エネルギー	太陽光発電システム普及加速型技術開発	大面積のガラス基板等に高速かつ高品質なSiを製膜する技術を開発 → 大面積ガラス基板等にシリコンを製膜する技術は、太陽光発電に限らずにも適用可能。(液晶テレビ等に活用できるが、現在は太陽光発電に活用)
17	エネルギー	太陽光発電技術開発「先進太陽電池技術開発」	MOVQ方式による高品質・大面積透明導電膜(ZnO)の製膜技術を開発 → 高品質・大面積透明導電膜(ZnO)は、太陽電池に限らず、液晶パネル等に採用できる可能性がある。(透明導電膜は酸化インジウムスズ(ITO)が一般的)
17	バイオ	タンパク質機能解析・活用プロジェクト	タココの色を付けたタンパク質製膜 → タンパク質の新しい機能性技術や、タンパク質製膜の新しいタイプの開発につながる。
17	ナノ	高分子有機EL発光材料プロジェクト	高性能高分子発光材料製膜技術の開発 → 有機EL発光材料の新たな開発に活用。また、表示材料のみならず、他の有機ELデバイスが可能となった。

★研究者の苦労話「実用化ドキュメント」を連載！

追跡調査で把握した上市事例(NEDOプロジェクトの貢献した製品やプロセス)を取材し、
 開発エピソードやNEDOの果たした役割を一般の人たちにも分かりやすい形で連載！

平成24年度分は、掲載中。平成25年度掲載分は、現在、取材中



NEDO プロジェクト
 実用化ドキュメント

研究開発プロジェクトのその後を追う！ シリーズ5

サイト内検索 Google™カスタム検索 検索

ホーム NEDOについて ▼過去のシリーズはこちらへ▼

「固体酸化物形燃料電池実証研究」プロジェクト
 高効率な固体酸化物形燃料電池(FC)を使った、家庭用燃料システムを開発
 大阪ガス株式会社

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/jyoushi/index.html>

実用化ドキュメント冊子版

H25年度テーマ一覧

	テーマ名
1	次世代低公害車
2	福祉用移乗器
3	ガラス研磨用パッド
4	ダイヤモンド超硬工具
5	工場間の熱エネルギー最適化
6	小型オンサイト水素製造装置
7	石炭ガス化発電プラント
8	RPF製造装置
9	標準メートル素子
10	レーザー発信素子
11	除湿型空気冷凍システム
12	バイオマス発電システム
13	可視光応答型光触媒
14	ガスエンジンコジェネシステム
15	MEMSチップ

シリーズ1(H20):9件、シリーズ2(H21):10件、シリーズ3(H22):14件、
 シリーズ4(H23):13件、シリーズ5(H24):15件、**シリーズ6(H25):15件(予定)**

★まとめと今後の予定★

1. 追跡アンケート:

追跡アンケートにより、プロジェクト期間中におけるマネジメントの状況、実現できたメリット、満足度に関する分析を行った。また、回帰分析などにより、成功事例に関する新たな要因を抽出できた。

今後は、詳細アンケートや個別ヒアリング(石炭、水素、ロボット等)を通じて、アンケートでは見出せない成功要因、失敗要因について、詳細な調査、考察を行い、マネジメントへの教訓を把握する。

2. 波及効果分析:

「NEDOインサイド」については、100製品に拡大するとともに、「リサイクル技術」を事例に、社会システムの中に取り込まれる要因分析を行う。また、直接的な売上だけでは評価できない観点についても継続的に調査する。

3. NEDO内での活動:

継続的に、新たな知見を、NEDO内にフィードバック(マネジメント研修、新人研修等)することで、マネジメントの向上に活用する。